

RETAILER ACADEMY NEWS

Apr 2025 | Bentley Motors Japan

アースデイ 2025 ベントレーの環境への取り組み

ベントレー モーターズは現在、世界で最もサステナブルなラグジュアリーカーブランドになることを目標に掲げています。そして4月22日は、地球の環境保護への支援を示す「アースデイ」です。今回は、この1年間のベントレー モーターズの環境保護への主な取り組みをご紹介します。また、この機会に、リテーラーの皆様も環境への影響の軽減について考える時間を設けてくださいますようお願いいたします。

サステナビリティに顕著な進歩



ベントレー モーターズが2024年4月下旬に発表したサステナビリティ年次レポートで、ベントレーのサステナビリティへの取り組みに顕著な進歩があったと報告しました。世界で最もサステナブルなラグジュアリーカーブランドになることを目指し、Beyond 100 戦略に基づいて従業員や地域社会への投資を継続し、環境への積極的な貢献を続けています。

ベントレー環境財団が設立1周年



地球環境への影響を軽減する活動などを支援するために設立されたベントレー環境財団が、2024年6月に設立1周年を迎えました。設立1周年と同じタイミングでは、新たに3つのパートナーシップ締結を発表。設立から1年でパートナー数は10に達しました。未来の世代のために地球環境を保護・再生しようとするベントレーの継続的な取り組みを示しています。

責任あるレザー調達で国際団体に加盟



ベントレー モーターズは、2024年8月にレザー産業の国際 NGO 「Leather Naturally」 に加盟しました。同 NGO は、食品産業の副産物としての皮革の使用を推進し、責任ある循環型経済をサポートしており、ベントレーは同 NGO に加盟した初の自動車メーカーとなりました。Leather Naturally への加盟により、レザー産業のサステナビリティ向上に積極的に活動し、業界全体の環境負荷低減に貢献していきます。

V8ハイブリッド パワートレイン登場



ベントレー モーターズは2024年5月、新開発のウルトラ パフォーマンス V8 ハイブリッド パワートレインを発表しました。驚異的なパフォーマンスを誇るこのパワートレインは、26MYからはコンチネンタル GT、コンチネンタル GTC、フライングスパーのマリナー デリバティブとスピード デリバティブに搭載されます。また、アズール デリバティブとベースモデルには、26MYで新登場のハイパフォーマンス V8 ハイブリッド パワートレインが搭載されます。

カリフォルニアの環境プロジェクトを支援



ベントレー モーターズは2024年8月、米国・カリフォルニア州でケルプの森再生プロジェクトに資金提供を行うと発表しました。ベントレー環境財団が支援するもので、海洋生態系の保護と再生を目指します。「ケルプ」とは昆布などの海藻で、この減少が気候変動に大きく影響しているとされています。ケルプの減少は、ヒトデの減少とムラサキウニの増加が主な要因とされており、同プロジェクトでは養殖したヒトデを放流してウニの個体数を調整し、ケルプの森の再生を図ります。

「Beyond 100+」戦略を発表



ベントレー モーターズは2024年11月、2035年までの目標を掲げる「Beyond 100+」戦略を発表しました。これは「Beyond 100」戦略の期間を2030年から2035年に延長したものです。2026年にベントレー初の完全電気自動車 (BEV) を投入することを明らかにしました。さらに、デジタル化、柔軟性、高付加価値の製造拠点とする次世代の「ドリームファクトリー」の構築に向け、サステナビリティ向上に向けた投資を継続することも発表しました。

コンチネンタル GT/コンチネンタル GTC/フライングスパー 26MYのデリバティブごとの相違点とは？



ベントレー モーターズはこのほど、コンチネンタル GT、コンチネンタル GTC、フライングスパーの26MYのベースモデルとアズールのデリバティブについての詳細を発表しました。そこで今回は、26MYにおけるデリバティブごとの主な相違点をまとめました。各モデルのデリバティブの理解を深めるために役立ててください。

■ コンチネンタル GT、コンチネンタル GTC、フライングスパーのデリバティブごとの主な相違点

デリバティブ		Mulliner	Speed	Azure	Base
パフォーマンス	パワートレイン	ウルトラ パフォーマンス V8ハイブリッド	ウルトラ パフォーマンス V8ハイブリッド	ハイパフォーマンス V8ハイブリッド	ハイパフォーマンス V8ハイブリッド
	最高出力 (PS) /最大トルク (Nm)	782/1,000	782/1,000	680/930	680/930
	最高速度 (km/h)	335	335	270	270
	0-100km/h 加速 (秒)	3.2 (GTC：3.4、FS：3.5)	3.2 (GTC：3.4、FS：3.5)	3.7 (GTC：3.9、FS：3.9)	3.7 (GTC：3.9、FS：3.9)
ADAS 関連	シティスベシフィケーション	標準装備	標準装備	標準装備	標準装備
	ツーリングスベシフィケーション	標準装備	26MYから標準装備	標準装備	26MYから標準装備
エクステリア	グリル	マリナー フローティング ダイヤモンド グリル	ダークティント マトリックスグリル	グロスブラック マトリックスグリル×バーティカルヴェーングリル (クローム)	ブラック マトリックスグリル
	バッジ	MULLINER	Speed	Azure	なし
	ドアミラーカバー	サテンシルバー	ボディ同色	ボディ同色	ボディ同色
	ホイール	マリナー専用デザイン22インチ (セルフレベリングホイールバッジ付き) (ペイント&ポリッシュ仕上げ)	スピード専用デザイン22インチ (シルバーペイント仕上げ)	アズール専用デザイン22インチ (シルバーペイント&切削光輝仕上げ)	21インチ10ツインスポーク (ペイント仕上げ)
	テールパイプ	ブライトクローム	ダークティントクローム	クローム	クローム
インテリア	カラーズプリット	マリナー推奨の3色カラーコンビネーション8種類	スピード専用シングルトーンまたはスピード専用デュオトーン (15色)	シングルトーンおよび4種類のデュオトーン (レザー 15色)	シングルトーン
	シートデザイン	プレジジョン ダイヤモンド キルトおよびマリナー コントラストステッチ	プレジジョン ダイヤモンド キルト	ハーモニー ダイヤモンド キルト	フルートデザイン
	ヘッドライニング	レザー：15色	Dinamica：15色 (ピラー含む)	Dinamica：15色 (ピラー含む)	Dinamica：5色 (ピラー含む)
	ヴェニア	グランドブラック×オーバーレイ	ピアノブラック	クラウンカット ウォルナット (オープンボア仕上げ)	クラウンカット ウォルナット (ハイグロス仕上げ)
	フェイスアパネルのバッジ	MULLINER	Speed	Azure	なし
	シートの刺繍	MULLINER	Speed	Azure	なし
	ムードライティング スペシフィケーション	標準装備	オプション	標準装備	オプション
	フロントシート コンフォート スペシフィケーション	標準装備	オプション	標準装備	オプション
	ウェルネスシーティング	標準装備	オプション	標準装備	オプション
	ベントレー ローターション ディスプレイ	標準装備	オプション	オプション	オプション

英国プレミアム ブランドの注目モデル

2025年に入り、英国のプレミアムブランドから注目すべきモデルが発表されました。その中から3台のモデルを取り上げます。

ASTON MARTIN

アストンマーティン ヴァンキッシュ・ヴォランテ

アストンマーティンが2025年3月25日に発表した「ヴァンキッシュ・ヴォランテ」は、同社のフラッグシップモデル「ヴァンキッシュ」に追加されたオープンモデルです。

PRICE：未定

SUMMARY

- ・アストンマーティン史上最速かつ最もパワフルなオープントップのカatalogモデル
- ・このカテゴリーでは世界最高レベルの出力を誇る5.2L V12 ツインターボエンジンを搭載
- ・「ヴォランテ」の名は、1965年の登場以来、60年にわたり同社オープントップの最高峰モデルのみに与えられる特別な名称
- ・14秒で全開、16秒で全閉できる軽量なK型折りたたみ式ソフトトップを採用
- ・生産台数はクーペを含め年間1,000台未満に限定。2025年第3四半期から納車開始予定

EXTERIOR

- ・旧モデルからホイールベースを80mm延長したことで実現したロングノーズと、優雅なオープンスタイルを融合した流麗なエクステリアデザイン
- ・ソフトトップは50km/h以下であれば走行中でも操作可能。半径2m以内であればキーによる車外からの開閉操作が可能
- ・新開発のステンレススチール製エキゾーストシステムを採用。オプションでより力強いエキゾーストサウンドが楽しめる、チタンエキゾーストシステムを設定

ASTON MARTIN

アストンマーティン ヴァンテージ・ロードスター

2025年1月15日にアストンマーティンが発表したヴァンテージ・ロードスターは、2024年にマイナーチェンジを受けたヴァンテージのロードスター版。ダイナミックな走りをオープンエアで楽しめるモデルです。

PRICE：28,600,000円

SUMMARY

- ・大幅にパワーアップされたエンジンとより洗練されたビークルダイナミクス
- ・クーペとの重量差はわずか60kgで、ほぼ同等の動力性能を実現
- ・市販車では最速となる開閉時間6.8秒の電動ソフトトップを採用
- ・ボディサイズの拡幅を含め一新されたエクステリア
- ・納車開始は2025年第2四半期の予定

EXTERIOR

- ・全幅を30mm拡大することにより、パフォーマンスモデルにふさわしいスタイリングを実現
- ・グリルの開口部を30%拡大することで、アストンマーティンらしさとエアフローの向上を両立
- ・Z型折りたたみ式でトノカバーを不要にしたソフトトップは8層構造を採用。50km/h以下であれば走行中でも操作可能



INTERIOR

- ・新世代アーキテクチャに基づく広々とした空間とクーペに匹敵する高い断熱性により、オープン/クローズを問わず高級感と快適性を両立
- ・タッチ操作と物理スイッチを融合した操作系に、先進の10.25インチデュアルディスプレイを搭載
- ・スポーツプラスシートと15スピーカーのBowers & Wilkins製オーディオシステムを標準装備。オプションでカーボンファイバー製パフォーマンスシートを用意

TECHNOLOGY

- ・最高出力835ps、最大トルク1,000Nmを発生。0-100km/h加速は3.4秒で、最高速度はクーペと同一の345km/hを実現
- ・接着アルミニウムボディ構造のシャシーは、従来型に比べて横方向の剛性を75%向上。重量増加を最小限に抑えながら、最大限のねじれ剛性を確保
- ・オープン化に伴う前後重量配分の変化に対応したサスペンションセッティングにより、オープンエアのダイナミックな運転体験を提供



INTERIOR

- ・DB12で初採用された社内開発の次世代インフォテインメントシステムを採用
- ・タッチと物理スイッチを融合させた直感的な操作性と、オンライン接続をはじめとする最新のコネクテッド機能を搭載
- ・車内音響に最適化された390W 11スピーカーの高性能オーディオシステムを標準装備

TECHNOLOGY

- ・4.0L V8 ツインターボエンジンは、ターボチャージャーの大型化、カムシャフトプロファイルの見直しなどで、155ps/115Nmのパワーアップを実現
- ・最高出力665ps、最大トルク800Nmを発揮し、0-100km/h加速は3.5秒、最高速度は322km/h
- ・6軸センサーによるビークルダイナミクスコントロール、8段階から選べるトラクションコントロールシステムなどにより、よりダイナミックな走行が可能

CASE STUDY

ROLLS-ROYCE

ロールス・ロイス ブラック・バッジ・スペクター

2025年2月18日にロールス・ロイス・モーター・カーズが発表したブラック・バッジ・スペクターは、BEVならではの静粛性と圧倒的な動力性能を両立した100%電気自動車のハイパフォーマンスモデルです。

PRICE：56,140,000円



SUMMARY

- ・ ロールス・ロイス史上最もパワフルなモデルとして登場した100%電気自動車
- ・ 最高出力485kW（659ps）、最大トルク1,075Nmの圧倒的なパワーを発揮
- ・ 匿名化されたブラック・バッジオーナーの走行データに基づいて決定された出力特性
- ・ パフォーマンスを最大限に発揮する2種類のモードを設定
- ・ 圧倒的な力強さと存在感を体現するブラックを基調としたダーク仕上げの内外装デザイン

INTERIOR

- ・ インフィニティ・シンボルとスピリット・オブ・エクスタシーを抽象的に配したインストルメント・パネルにより、ブラック・バッジの力強い個性を表現
- ・ ピアノ・ブラックの「空」に大小異なる輝きを放つ5500個以上の「星」を散りばめた、新たなデザインのイルミネイテッド・フェイスアを採用
- ・ 5種類から選択可能なテーマカラーにより、物理的デザインとデジタル表示を調和させたメーターパネル

EXTERIOR

- ・ イメージカラーとして、1980年代から1990年代のクラブカルチャーにインスパイアされた新色「ヴェイパー・ヴァイオレット」を設定
- ・ カラー・バックプレートを5種類から選択とすることで、より個性的な光の演出を可能にしたイルミネイテッド・グリル
- ・ 部分ポリッシュ仕上げとオール・ブラック仕上げの2種類から選択可能な23インチ 5スポーク鍛造アルミニウム・ホイールを新たに導入

TECHNOLOGY

- ・ モーター出力は、スペクターに比べて最高出力で55kW（74ps）、最大トルクで175Nm増強。消費電力は23.8～22.2kWh/100kmで、一充電走行距離は493～530km
- ・ ステアリング・ホイールのボタンを押すことで作動する「インフィニティ・モード」では、485kW（659ps）の最高出力を解放することで、よりダイレクトなスロットル・レスポンスを実現
- ・ 一時的に最大トルクを1,075Nmに増幅する「スピリテッド・モード」を搭載。強烈かつ瞬時の加速力により、0-100km/h加速4.3秒の圧倒的な加速が体験できる

HERITAGE

100年を超えるベントレー モーターズの歴史の中では、数々の名車が誕生し、世界中のお客様やファンに愛されてきました。ベントレーは現在、電動化への歩みを加速させて新時代の扉を開けようとしています。このブランドを作り上げてきた往年の名車をあらためてご紹介します。今回はS1 コンチネンタル フライングスパーです。

Sシリーズ コンチネンタルは、Rタイプをアップデートおよび改良したモデルで、独立したシャシー、直列6気筒エンジンを備え、個別にコーチビルダーによるボディが架装されていました。当時、標準仕様の工場架装ボディを備えたSシリーズのサルーンが3,295ポンドでしたが、H.J.マリナーやパークワードなどが手掛けるボディを備えた車両を手に入れるには、その2倍以上の料金を支払わなければなりませんでした。

コーチビルダーがボディを手掛けたSシリーズ コンチネンタルは、計432台が製造されましたが、そのうち217台がH.J.マリナー製。ちなみに、工場架装ボディのサルーンは2,927台製造されました。

Sシリーズ コンチネンタルの多くが2ドアモデルでしたが、H.J.マリナーは工場架装の4ドアモデルに代わる、コーチビルドの4ドアのコンチネンタルを求める声に耳を傾け、小規模ながらも確実な市場があると判断。そのデザインはバランスのとれたエレガントなもので、4人が乗車できるゆとりあるスペースを備えていました。この新しい4ドアモデルは、当時H.J.マリナーのマネージングダイレクターを務めていた



アーサー・タルボット・ジョンストンにより、彼の家系であるスコットランド国境のジョンストン家の紋章にちなんで命名されました。最初のモデルのラジエーターグリルには、ジョンストン家のマスコットである拍車（Spur）が描かれていました。H.J.マリナーのフライングスパーが成功したことを受け、コーチビルダーのジェームズ・ヤングもビスポークの4ドア コンチネンタルを発売するなど、周囲に大きな影響を与えました。

コンチネンタルGTが2003年にデビューした後、2005年に「コンチネンタル フライングスパー」の名で現在につながる初代フライングスパーが誕生しました。現代のモデルが往年の名車と同じストーリーを持っているのは興味深い点です。



製品やブランドの理解を深めるために
E-Academyをご活用ください

ベントレー モーターズが提供しているEラーニング プログラムの「E-Academy」。

製品を販売するにあたっての知識や、100年以上の歴史を誇るベントレーというブランドの理解を深めるため、E-Academyを積極的にご活用ください。

4月掲載トレーニング情報

26MY Continental GT and Flying Spur プロダクトスナップショット

コンチネンタルGT、コンチネンタルGTC、フライングスパーの26MYに関する製品情報です。各デリバティブの特徴など商品情報が満載。特にアズールとベースモデルに大きな変更がありますので、お客様に説明できるようしっかりと学習してください。



リテラー アカデミーニュースレター

2025年第1四半期に関するニュースです。第1四半期を振り返りつつ、四半期ごとや半期ごと、そして通年の目標達成につなげられるように、情報やデータを整理することをおすすめします。



■ トレーニング開催情報

ELECTRIFICATION TRAINING

バッテリー交換などの技術力向上へ

ベントレー モーターズ ジャパンは3月25～26日の2日間、HVE資格取得者を対象とした25MY GTハイボルテージ バッテリー交換実践講習を開催しました。今後増加することが想定されるHVバッテリー交換作業において、修理の中核を担うHVEテクニシャンの技術力向上のため、非常に有意義な機会となりました。



ADVANCED LEVEL

ADVANCED



アドバンス テクニカルPIT STOP開催中

アドバンス テクニカルPIT STOPが、4月7日から豊橋トレーニングセンターで始まりました。5日間のカリキュラムを少人数制のクラス編成で受講し、計17人のテクニシャンが、基礎から応用までの故障診断技術の習得を目指しています。



エンジンオイルの役割と指定オイルの重要性

エンジンオイルは、エンジン性能だけでなく排気システムにも深く関わる重要部品。
ベントレーが指定する純正オイルを使用することは、車両の価値を守る最善の選択です。



役割

潤滑だけでなく、洗浄や腐食防止、燃費向上など
幅広い役割を果たす

近年のエンジンオイルは、潤滑、冷却、洗浄、防錆、密閉といった基本機能を備えるだけではありません。GPF(ガソリン粒子フィルター)という排気後処理装置を劣化させたり詰まりを起こしたりする原因となる灰分・リン・硫黄を抑えた設計が主流となり、これにより排気装置の長寿命化と環境性能の両立を図るものが一般的になっています。

これらを実現するため、エンジンオイルはベースオイルに各種高機能添加剤を組み合わせで設計されています。そのため、粘度や化学合成油の表記が同じでも性能は大きく異なります。ベントレーでは、こうした要件に最適化されたメーカー指定オイルの使用を推奨しています。これは、車両の性能維持と信頼性を支える最善の選択といえるからです。

粘度

「0Wは5Wより保護性能が劣る」は誤解

エンジンオイルの粘度は、SAE規格によって「0W-30」などの形で表示されますが、このうち「W」(Winter)側の数字は、低温下での流動性を示しています。「0W-30より5W-30のほうが保護性能が高い」と思われがちですが、それは誤解です。W側の数字は保護性能の強弱を示すものではなく、寒冷時の流動性を表すもの。数字が小さいほど低温でもスムーズにエンジン内部へオイルが行き渡ります。

0W-30

W側の数字は寒冷時の流動性を示します。保護性能の強弱を示すものではありません。

高温時(オイル温度100℃)の粘度を表し、数字が大きいほど高温時の粘度が高く油膜が切れにくいことを意味します。

品質

V8 PHEVエンジンに最適なエンジンオイル
「Mobil 1™ ESP X4 0W-40」

2025年モデルのコンチネンタルGT、コンチネンタルGTC、フライングスパーに搭載されたV8 PHEVエンジンには、メーカー充填オイルとして「Mobil 1™ ESP X4 0W-40」を採用しています。(Parts no.: G A55579B4)

このエンジンオイルは、エンジン性能の最大化と環境性能の両立を実現します。新型V8パワートレインには高性能エンジンオイルが採用されており、その特長を理解したうえで、お客様に適切な情報を提供してください。

特長	メリット・優位点
優れたエンジン清浄性	スラッジや堆積物の形成を抑制し、エンジン内部を清潔に保ちます。
高温・低温での安定した性能	優れた熱・酸化安定性により、オイルの劣化を抑制し、長期間にわたりエンジンを保護します。低温時の流動性にも優れ、寒冷地での始動時にも迅速にエンジンを保護します。
燃費向上への寄与	摩擦特性の最適化により、エンジン効率を高め、燃費の向上に貢献します。
排気後処理装置との高い互換性	低SAPS(硫酸灰分、リン、硫黄)設計により、GPF(ガソリン粒子フィルター)の性能を維持し、長寿命化を実現します。